

新しいバス事業の 早期実現に向けて

野島 進吾 議員

Q 新たな交通計画の策定に向けて、地区別意見交換会が開催された。各地区からいただいた様々なご意見をもとに、各駅を循環するハブ機能をもったバス停など、新しいバス事業の発想を市民に打ち出し、まず社会実験として、一部の地域で具体的なバス路線の再編計画を策定してほしい。バス事業への赤字補てんではなく、新しいインフラへの投資を強く要望する。

A 現在策定中の大村市地域公共交通網形成計画においては、大きな幹線を市民病院や県立・市立一体型図書館、スマートインターチェンジ、新幹線新駅などの拠点と結んでバスを運行する必要がある。空白地域においては路線バス以外の方法を考えなければならぬため、一部地域でのバス路線の再編計画の策定は困難である。

ボート場を利用した 事業について

野島 進吾 議員

Q ボートレース大村は本市の要である。観光のパッケージの中に大きく反映させてほしい。また、イメージアップを図るためアミューズメントや文化事業、インバウンドの増加策など、先駆的な施策を立案し、ボートレースを核とし、観光やイベントスポットとして発展させる必要があるが、今後の取り組みはどうか。

A 今後のボートレース大村の取り組みについては、県内外から多くのお客様に来場していただけるよう地域密着型のイベントや従来から取り組んでいる話題性の高いイベントの開催に加え、免税店や医療ツーリズムと連携した訪日外国人の取り込みを進めるなど各種施策に取り組み、情報発信の強化に努めたい。



教育・文化・スポーツ



「三城城址」の世界遺産 登録に向けた調査を

山北 正久 議員

Q 「三城城址（大村純忠築城）」は、日本キリスト教受容の原点であり、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」に値する極めて重要な遺跡であることが、出土した遺物や多くの歴史的参考文献から証明されている。大村市の歴史を代表する遺産であることから、国指定の取得と世界遺産登録を目標に、官民合同の調査研究チームの設置を提案する。

A 三城城址の国指定の取得については、これまでの問題を初め、なかなか進んでいないことは承知している。現在、世界遺産等の話もあるため、大村純忠や大村市全体の関連等を含め、三城城址をもう一度しっかり見直し、県の協力もいただきながら進めていく。まずは、このようなことを、教育委員会を含めて前に進めていきたい。

歴史及び歴史教育

中瀬 昭隆 議員

Q 安田産業汽船株の安田氏が書かれた本に、白島の隣に人為的につくられた可能性が高い亀瀬という瀬があり、大村純忠の墓として、誰にも知られないように、海の中につくられた可能性がある」と指摘されている。そうだとすれば大発見である。盗掘などで、永遠に真相を解明できなくなる恐れもあるため、早急な調査をお願いしたいがどうか。

A 亀瀬については、これまで詳しい研究はされておらず、今後の研究課題の一つだと考えている。

地元出土の埋蔵文化財は 是非公開展示を

三浦 正司 議員

Q 九州新幹線西九州ルート工事に伴う遺跡調査で出土した埋蔵文化財の現況と、今後それらを地元での保存・展示はできないのか。特に出土場所や新幹線高架橋下の空間を活用した展示場の